

# 小石丸の飼育プロジェクト(第二期)スタート

## UAEアブダビとドバイの日本人学校にも小石丸の卵が到着



小石丸プロジェクトの第二期がいよいよスタートします。第一期は、五月から六月にかけて東京の小学校五校とUAEアブダビとドバイの日本人学校で取り組みましたが、UAEの二校は、想定以上の悪環境の中、孵化して四、五日で全滅してしまい、両校の児童が失意する状況になってしまいました。そのことから、今回は参加する東京の小学校六校で孵化から三齢まで育て、それをUAEの二校に届けます。

## UAE二校と東京六校が連携

第一期の五校に、第二期からは私立の啓明学園初等学校（東京・昭島市）が加わり、東京はそれぞれ三校づつに分かれてアブダビ校とドバイ校との交流を行います。

今回の小石丸の卵は、京都工芸繊維大学の田昌利教授が育てたものに統一。九月二十四日頃に孵化するように調整されており、UAEと東京で一斉に小石丸が孵化します。

今回はUAEへ届ける小石丸を東京の各校で育てることから、それぞれ四百から五百頭ほどの飼育となっています。



九月一七日に成田空港を飛び立った小石丸の卵は、翌一八日の午前七時(現地時間同日午前二時)にUAEドバイ国際空港に到着。入国手続きを経て、そのままドバイ校に届けられました。

同校では、早速、担当の松崎裕介先生(東京都から出向)と向山良祐先生(山梨県から出向)が届いた小石丸の卵を大事に保管し孵化に備えていました。

同校では第一期は五年生が飼育しましたが、今回からは三、四年生も加わり小石丸を育てます。

## UAEとの交流にプラットフォーム新設

アブダビ校では、従来の学校ホームページに加えて、新たに小石丸プロジェクト専用のプラットフォームを立ち上げ、その中で東京の小学校との交流を行います。なお、このプラットフォームは、

アブダビ校には同日の午後一時に

卵が到着。梶山明彦校長と担当の

久須美克典先生、山本隆一先生、

木村雄一先生に手渡されました。

なお、同校では養蚕の盛んな群馬

県出身の木村先生が「蚕部長」に

就任。校内の飼育に適した候補場

所十数か所の気温と湿度を念入りに

計測するなど準備万全。

第一期は乾燥との闘いだったた

め、日本から届いた二重構造のプ

ラケースに加え、現地では入手の

難しい発泡スチロール製の箱を用

意するなど、念には念を入れた対

応を取っています。

東京の小学校の先生も編集できる

ようにし、動画なども載せられる

ため、より充実した交流が期待で

きます。

また、ドバイ校でも同様に準備し

ていきます。